

このレターは、当協会にご縁を頂いている経営者の皆様にお届けしています。
答えのない21世紀で奮闘されている経営者の皆様へ

Vol. 92
2024.11.01

U 協 近 畿 通 心

～U協を使い倒しましょう～

公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会
近畿事業推進部

【はじめに】

近畿事業推進部の川畑です。鹿児島伊佐の畑に、危険なオオスズメバチが飛来していたので、義弟がペットボトルを使って手作りの捕獲機を仕掛けたところ、なんと2つのペットボトルに50匹くらい捕獲されていました。オオスズメバチは一つの巣に500匹くらいはいるので、まだまだいると思いますが、誰も刺されなくてよかったです。このシーズンは女王蜂が卵を産む時期で、蜂は気性が荒くなっています。刺されると、死に至ることもあるので大変です。どうして私の畑にくるのかよくわかりませんが、刺さないで欲しです。巣がわかったら駆除ですね。

そんな中でも妻が植えた大根と白菜は、虫に食べられながらも大きくなっています。土中の温度が高すぎて植えるのが遅くなったジャガイモ(インカのめざめ)も芽を出してきました。これからの成長がほんと楽しみです。

先月は、全国参加型ICTオンライン講座、大阪商工会議所中小企業DXセミナー、京都北都信用金庫様での講演と、たくさんの方とお会いでき話す機会を頂きました。講演を依頼されると資料を作成するために関連事項を調べたりするので、自分の知識のブラッシュアップもできます。その上、講演で生の声も聞けたり、ICTの活用状況がわかったりします。調べたことをわかりやすく伝えて喜んでもらえるのは嬉しいです。

10月になってもまだ暑い日があり、半袖で過ごしています。少しずつ秋色を感じています。秋に行ってみたい所はありますが、先にやらないといけないことが多くて、そこまできていないです。人生なんだかんだとありますね。

さて、第50回衆議院選挙の投票に行ってきました。投票率はどうなるのでしょうか。前回2021年の衆議院選挙の投票率は小選挙区55.93%でした。過去最低は2014年の52.66%でした。

誰にどの党に政権を託すのか、なかなか難しい選択ですね。投票率は上がって欲しいです。それが国民が政治に関心があることを示す唯一の方法だと思います。投票率が上がれば政治家もうかうかしてられないので、政治も変わってくるのではないかと思います。

今月15日(金)、高知で電話対応コンクール全国大会が開催されます。全国から勝ち抜いてこられた47都道府県の代表選手の素敵な応対に出会えるのが楽しみです。11/8全国参加型ICTオンラインセミナー、12/13全国参加型ICTオンライン講座の準備もあります。

頑張らなくっちゃ。今月もU協近畿通心、愉しんでいただけますと嬉しいです。



衆議院選挙の投票に行った小学校にある長い滑り台です。子供たちのしゃぐ声が聞こえてきそうです。いい天気です。

【ICT用語豆知識 「Gemma (ジェマ)」ってご存じでしょうか】

Googleが2月に**Gemma (ジェマ)**を発表しました。**Gemma**はオープンソースで商用利用可能の軽量な小規模言語モデルです。Gemmaには**パラメータ数20億の「Gemma 2B」**と**パラメータ数70億の「Gemma 7B」**の2種類があり、それぞれに「**事前学習済みモデル**」と特定のタスクに絞って調整した「**インストラクションチューニング済みモデル**」が用意されています。また、Gemmaの利用規約では、規模に関係なく**すべての組織に対して商業利用と配布が許可**されています。ChatGPTのパラメータが1,750億ということからするとかなりの軽量です。ちなみにGPT4はパラメータが1兆を超えたとされています。

最近パラメータが数億～100億以下の小規模言語モデルが目覚ましい進化を遂げています。これらのモデルは、低コストかつローカル環境でも運用可能でありながら、高いクオリティを実現しています。AIコンストレーション（優れた専門AIの連携）には小規模言語モデルの優れたAIが必要になってきます。この動きも注目です。

前は、第121回「話しやすいということ」（2024.06.17）をご紹介しました。

今回は、第122回「**名前を大切にしたい**」（2024.07.16）をご紹介します。

私たちは、一生のうちに自分の名前を何度口にするでしょうか。また何度文字にするでしょうか。名前は大切な個人情報であり、人には渡せぬ生涯の財産なのです。ところが、その名の価値や扱いが、最近変わってきたように思うのです。今回は名前と名乗りについて考えます。

「まずは名前を覚える」

コミュニケーション教育の中で、相手の名前を覚え、名前を呼びかけることは、基本中の基本とされてきました。どのような言葉よりも、自分にとって名前は最も好きな言葉だからです。

名前を覚えてくれて呼びかけてくれることは、最高の敬意の表れであり、親近感でもあります。社員教育の第一歩は、上司先輩同僚の名前を早く確実に覚えること。現場に出たら、お客さまの名前をしっかりと覚えること。そして呼びかけること。どなたも経験のあることでしょう。

“経営の神様”松下幸之助さんは、毎年会社に入ってくる新入社員の名前を全部覚え、さりげなく呼びかけたという話は、今も伝説として残っています。

BARのママのノウハウ

視点が変わりますが、若い頃しばしば通っていたBARでの話です。棚にずらりと並んだボトルの一本一本には、キープした客の名前がついています。馴染みの客が来ると、棚からその客のボトルがさっと取り出されるのです。当時、それが不思議でした。さほど大きな店ではありませんでしたが、それでもキープされているボトルは百本近く。常連客ばかりとは限りません。

「よく客の名前を覚えられるなあ、すごい!」。そっとママに訊きました。「分からない時もありますよ。その時は精いっぱい笑顔と声の表情で歓迎を表します。そしてさり気なく店の若い娘に目配せをして、私はいったん奥に入るの。その間に若い娘がお客さまの名前を訊いて私に耳打ちするんです。ママである私が忘れたではすみませんからね」。一見（いちげん）の客から常連客に、不特定の客を相手にする水商売には、それなりの苦心のノウハウがあるのだと感心した記憶があります。

変わってきた日本人の名前

きちんと調べたことはありませんが、日本人の名前の種類は、各国と比べても非常に多いそうです。日本苗字大辞典には29万1,129種類あると載っているそうです。アナウンサーの現役時代には、難読姓氏（なんどくせいし）に随分苦労いたしました。アナウンス室には、独自に作った難読姓氏辞典もありました。四月一日（わたぬき）、春夏冬（あきない）などの珍しい姓には驚きました。私の知人の中にも、大豆生田（おおまみゅうだ）、熊埜御堂（くまのみどう）といった珍しい姓の人がいました。難読姓氏全体から見れば、それはほんの一部でしょう。

難読姓氏もさることながら、私が案じるのは名前のほうです。先祖代々受け継いできた苗字よりも、新たにつける名前の多様さ奇抜さです。近頃の小中学生の名簿には、当節風に言えばキラキラネームと言うのでしょうか、派手な漢字やカタカナ文字が組み合わさった、簡単には覚えられない名前が目につきます。昔の名簿には必ずあった、男、夫、雄、子、世、代、美などの定番の漢字は、ほとんど見当たらなくなりました。時代の変化と言えばそれまでですが、何と呼んだらよいのか分からない名前には違和感を覚えます。

責任と誇りを持って名乗れるように

名前には、正邪善悪はありません。ただ読み難く呼び難い名前、覚え難い名前があります。

そうした名前が急増しているように思うのです。つい数年前までのマナー教育では、「初対面での名乗りは、苗字と名前をしっかりと名乗りなさい。できれば文字まで説明して」と教えていたように思います。それが近頃は苗字だけ言えばよい、に変わってきたようです。

時々利用する近くのバス路線では、以前はきちんと表示されていた運転者の名前が消えました。運転者番号だけの表示に変わったのです。理由はどちらも定かではありませんが、必要以上に個人情報をオープンにすることを抑える風潮にあるようです。

2020年の11月からは、ほとんどの行政手続きの押印が廃止になっています。多くのケースで実印も不要になりました。IT化の進展に伴う効率化は結構なことではありますが、名前という人格を持った貴重な財産が軽んじられていくようで、不安と寂しさを覚えます。

名前をめぐる状況はまだまだ変わるでしょう。**どんなに変わっても、責任と誇りを持って、自分の名前を堂々と名乗れる電話応対であってほしいと願っています。**

【ユーザ協会の得意技！　こういう蓄積・ノウハウがあります。
「物流2024年問題」の背景と解決すべき課題（1/2）】

物流業界を取り巻く環境は、この数年間で激変しています。2017年頃から、深刻なドライバー不足により、「**物流クライシス**」という言葉が登場しました。クライシスは直訳すると危機という意味ですが、物量と運び手の需給バランスが崩れ、モノを届けられないという状況が発生し始めました。コロナ禍で物量が減少し一時的に落ち着きましたが、昨今「2024年問題」とさまざまな場面で取り上げられており、再び物流危機が訪れようとしています。3回連載の初回となる今回は、その背景や課題について解説していきます。

物流業界における2024年問題

働き方改革関連法の施行により、時間外労働の上限規制が大企業では2019年4月から、中小企業は1年遅れの2020年4月から適用されています。しかし、建設業やドライバー職などの一部の特定職種は5年間の猶予が与えられていたため、2024年4月から適用されました（図1参照）。

内容		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
年休5日取得義務化								
時間外労働の上限規制(年720時間)の適用【一般則】	大企業							
	中小企業							
未払い賃金の請求権消滅時効期間の延長(2年→3年)								
月60時間超の時間外割増賃金率引き上げ(25%→50%)								
時間外労働の上限規制(年960時間)の適用【自動車運転業務、建設業、医師等】								

図1：働き方改革関連法案（一部抜粋）

そのため、ドライバー職の時間外労働は年間上限960時間以内に収めないといけなくなりました。また、年間の基準だけでなく、1日の拘束時間（労働時間＋休憩時間）の上限も今まで16時間以内と定められていたものが、15時間以内と1時間短縮されました。この労働時間の短縮とトラックドライバー人口の減少とが相まって、このままであれば2030年には貨物の約35%が運べなくなるという試算が発表されています。

実際、すでに我々の生活にも影響が出ています。例えば、あるコンビニチェーンではお弁当の配送回数をこれまで1日3回だったところを2回に変更しています。もしかしたら、よく行くコンビニがなんだか最近品薄なことが多いな、と感じている方もいらっしゃるかもしれません。

また通販を利用されている方であれば、今までは注文した翌日には受け取れていたものが、いつの間にか翌々日発送になっていた、という経験があるかもしれません。このように、物流サービスレベルを落とさざるを得ないケースが出始めています。

配車システム導入による効率化

2024年問題を解決するためには、生産性の向上は避けては通れません。その手段の一つとして期待されているのが、デジタル化です。物流業界は特にアナログな業界で、労働集約型の産業です。言い換えると、**デジタルの力によって生産性が向上する余地が非常に大きい**とも言えます。例えば、日々の運行シフトを決めることを「配車」と言いますが、この配車組みは通常ベテラン配車担当者が長年の経験から、どのトラックにどの貨物を載せるのかを決めて、紙やエクセルにまとめていることが多いです。アナログな作業なので、日別・トラック別の積載率や配送効率を正確に把握することができず、本当にその配車組みが最も生産性が高いのかどうかを検証できません。これに対し、**配車システムを導入することで、トラック別の積載量や稼働時間が可視化され、より効率的な配車ができるようになります**。さらに、最近では配車システムにAI機能が搭載され、その日の物量や配送先、天候、道路交通事情を加味してAIが最適な運行ルートを組んでくれるものまであります。

配車はブラックボックス化することが多い業務のため、**デジタル化には生産性が向上するだけでなく、属人性も排除できるというメリットがあります**。

待機時間削減の取り組み

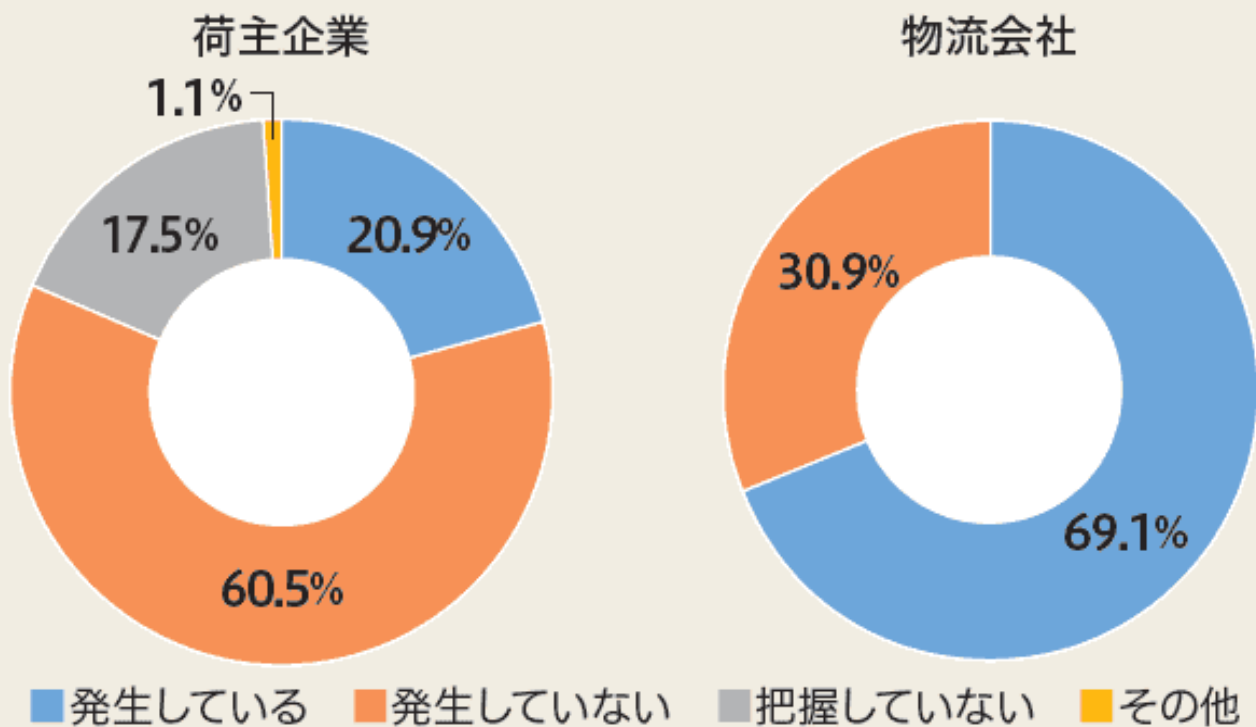
このように物流会社の自助努力で解決できる部分がある一方で、メーカーや卸などの荷物を出す側、いわゆる荷主企業にも協力してもらわないと改善しない部分もあります。

トラックドライバーの労働時間が長くなっている要因の一つに、長時間にわたる待機時間・荷待ち時間が挙げられます。メーカーなどの工場や物流センターに積み込みに行った際に、まだ出荷の準備が整っていなかったり、ほかのトラックも積み込みのために行列をなしていたりして、3時間以上待たされることもあります。

しかし、荷主企業側は物流現場で発生している実態を正確に把握していないケースも多々あります。図2を見ていただくと、そのギャップがよく分かると思います。国土交通省が荷主企業と物流会社の双方にそれぞれアンケート調査を行った結果です。「荷待ち時間が発生している」と回答した荷主企業は20.9%だったのに対して、物流会社は69.1%と大きな認識のずれがあります。また、別の年の同調査※では、「荷待ち時間が発生している」と回答した荷主企業でも、荷待ち時間は「30～49分」と回答した企業が最も多く、「50分未満」がほとんどであったのに対して、ドライバーが認識している荷待ち時間の平均は1時間34分という結果も出ています。

荷待ち時間の把握

図2：荷主企業と物流会社の認識差異



この待機時間を削減するためには、荷主に対して実態データを提示して交渉する必要があります。そのためにはデジタルタコグラフ（速度や走行時間・待機時間、走行距離などの情報を記録するデジタル式の運行記録計）や運行システムを導入し、待機している時間を記録に残しておかなくてはなりません。**正確なデータの提示が、認識を改める、配送効率改善の第一歩となります。**

対応が進んでいる荷主企業では、**バース予約管理システムを導入して待機時間を削減**しようとして取り組んでいます。バース予約管理システムとは、ドライバーや運送会社が事前にバース（荷卸しをする場所）での積み込み時間を予約することで、荷待ち時間を削減できるシステムです。物流センターや倉庫側も、予約状況やトラックの位置情報をリアルタイムで確認できるため、入出荷の準備を効率的に行うことができます。

配車組みや待機時間削減はあくまでも一例で、このほかにも解決すべき課題は多々あります。いずれにせよ、**物流業界における2024年問題を乗り越えるためには、物流会社と荷主企業の双方でDXを推進していく必要があります。**

※ 国土交通省「トラック輸送状況の実態調査結果 令和2年度」

【お役立ち情報：10/18(金) サイバーセキュリティ対策講座②を開催しました。】

10/18(金)に実施したサイバーセキュリティ対策講座②に、全国から693名の応募がありました。今年から始めた全国参加型ICTオンライン講座も回を重ねてたくさんの方にご利用いただいています。本当に嬉しい限りです。今回は2部構成で開催しました。参考になりそうな点をご紹介します。

【第1部】サイバー空間をめぐる脅威の情勢、ビジネスメール詐欺等への対策

講師：警視庁 サイバーセキュリティ対策本部 担当官

- 暗号化せずにデータを盗み脅迫する手口ノーランサムが増加
- ランサムウェア攻撃被害は企業経営に大打撃
- ランサムウェア被害は64%が中小企業
- 侵入経路はVPN機器、リモートデスクトップからが83%を占める
- 最新のセキュリティパッチを適用しているのは50%
- 社員一人一人のセキュリティ意識の向上が大事
- 攻撃者からのメール受信には要注意（フィッシング、マルウェア感染）
- 本物そっくりの偽サイトを見抜くのは困難
- officeのマクロ実行は慎重に
- 侵入被害を最小限に抑えるバックアップは大事（NWから切り離して保管）
- ランサムウェア攻撃の被害防止対策
 - ①侵入時 ・脆弱性管理 ・パスワードポリシーの見直し
 - ②侵入後 ・適切なアクセス制御 ・定期的なセキュリティ監査
 - ③攻撃実行時 ・定期的なバックアップ取得

【第2部】基本から再確認！！2024情報セキュリティ講座

～今日からすぐに出来るセキュリティ対策の基礎知識を習得！

講師：ユーザ協会 近畿事業推進部長 川畑 文雄

- 守るべき情報資産を明確にする
- サイバー攻撃を受けると数百万円～数千万円以上お金がかかる
 - ・ランサムウェア平均被害額 2,386万円 ・エモテット平均被害額 1,030万円
 - ・クレジットカード情報&個人情報漏えい平均被害額 3,843万円→ サイバー保険に入りましょう
- 攻撃の手口を知りましょう。
 - ・ランサムウェア ・標的型攻撃 ・ビジネスメール詐欺 ・DDoS攻撃
 - ・ソフトウェアの脆弱性を悪用した攻撃 ・ばらまき型メールによる攻撃
 - ・個人を狙うSMS、SNS、メールを悪用した手口
 - ・個人を狙う様々な騙しと悪用手口
 - ・情報漏えいによる被害
- 情報セキュリティ対策と融通性はトレードオフの関係
- 通常対策と有事対策を講じる
 - ・通常対策 セキュリティチェックをしてみましょう

<Web診断可> 5分でできる！自社診断 設問に回答 | IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

- ・安全なパスワードは最低でも10文字 記号 アルファベットの大文字、小文字を組み合わせる
- サービスごとに違うパスワードを設定

チョコっとプラスパスワード | IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

- ・有事対策 IPA 警察に相談 日頃委託しているセキュリティベンダや通信事業者も頼れる
- スマホのセキュリティ対策にも注意が必要
 - ・最新のアプリを使う ・端末データをバックアップ ・端末を探す機能をON
 - ・画面ロックを設定 ・公衆Wi-Fiは選んで利用 ・SNSプライバシー設定
 - ・セキュリティアプリを利用 ・使っていないアプリは削除

○情報セキュリティを担保するのは、最後は「人」

【お役立ち情報：理解→納得→共感→信頼→感動を思い出しました。】

石破首相の「納得、共感」という発言を聴いていて、大前経営塾で出会ったユニ・チャーム創業者の高原慶一郎さんの講演を思い出しました。当時、私はとても感銘を受けたのを覚えています。

久しぶりに講演を視聴してみました。経営塾のいいところは、卒塾しても映像講義が視聴できることです。

最初に「**他人に厳しく自分に甘くなっていませんか？**」という問いかけがありました。ドキッとしたのを今でも覚えています。

高原慶一郎さんは、1931年愛媛県川之江市に生まれ、1961年大阪で大成化工を起業されました。大成化工は防火建材メーカーでしたが、会社設立2年目にアメリカ視察に行かれた際、アメリカで生理用品が山として売られていたことや、アメリカ社会を目のあたりにして女性が活躍する社会が来ると考えて生理用品を扱うようにされました。

社員は突然の事業内容変更で大変だったようです。それはそうです。設立2年目ですからね。「理解、納得、共感」というのを聴いたのはこの時でした。社員の感情が、「安心—理解—納得—共感—信頼—感動」のどの段階にあるかを確認しながら対応されたそうです。凄いです。

これはコミュニケーションでも凄く大事だと私は思っています。

人生の3惚れ 商品に惚れる 会社に惚れる 故郷に惚れると言われ、「**尽くし続けてこそ No.1**」「**変化価値論**」「**原因自分論**」がユニ・チャームの3つのDNAなんですね。これって自分にも言えることですね。高原慶一郎さんは人材育成のポイント6を以下のようにおっしゃっていました。また、この本には「**他人との比較で勝ち負けを決めるな。人と比べるのではなく、過去の自分と競争しよう。自己ベストを出した人はみんな勝者だ**」「**好調なときこそ道の端を歩け。先を急ぎたいときこそ、立ち止まってじっくり考えよ。早急な結論は真の結論にあらず**」など、45年の経営者人生で培われた重みのある言葉には、要領の悪い人でも成功を収めるヒントが詰まっています。高原慶一郎さんの座右の銘は「**日々新たなり**」なんですね。普段の仕事にも役立つノウハウやヒントが満載で、次代を担う若いビジネスマンにお勧めの本です。

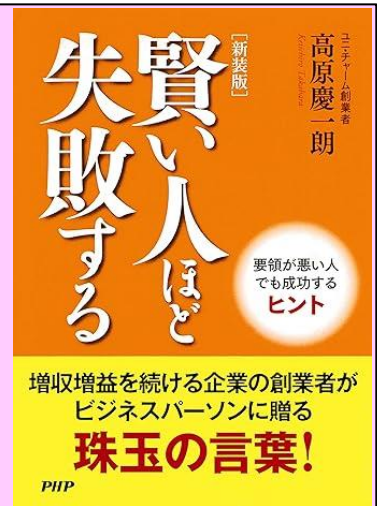
手元において毎日1つづまた読むようにします。故高原慶一郎さんの希望でもあります。

<人材育成のポイント6>

- 1, 経営理念・経営方針を納得させる
- 2, 実行計画におろす
- 3, そしてやらせてみる
- 4, ただ任せるだけではなく、言うべきはいう
- 5, たえず訓練する
- 6, 内なる欲求を高めさせる（人が育つ、育たないは本人の意欲しだい）

<目次>

- 第1章 一生一度の人生をどのように生き続けるか—高い志・貫徹の決意
- 第2章 日々自分を変えて人生を素直に生きる—感動・素直・原因自分論
- 第3章 自分が選んだ仕事に全力を注いで生きる—仕事好き・お客さま志向・変化価値論
- 第4章 人生の節目を意識し五つの年代を充実して生きる—行動から継承の年代・豊かでいい時間・共感感動
- 第5章 厳しさと達成感の繰り返しでリーダーとして生きる—共振の経営・リーダーシップ・リスクテイキング
- 第6章 人間好きとして人と人の間で生きる—友人・家族とのきずな・女性の味方
- 第7章 歴史観・世界観・人物観をふまえながら生きる—日本ブランド・健全な愛国心・歴史に学ぶ



<原稿大募集しています！>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。いつでも待ってま～す。写真等も大歓迎です。

送り先：f.kawabata@jtua.or.jp（川畑）までファイル（A4）を送ってください。

締切間近 11/6(水)まで

公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会

オンライン
セミナー

AIがつなぐ、 デジタルコンテンツが導く、 働き方改革の将来像

特別
講演

「超ヒマ社会」到来。「働き方」改革より、
「遊び方」改革!ってなあに?

iU(情報経営イノベーション専門職大学)学長

中村 伊知哉氏

京都大学特任教授、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、大阪・関西万博2025事業化支援PTプロジェクトリーダー、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4よりiU学長。内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』(ヨシモトブックス)、『コンテンツと国家戦略』(角川EPUB選書)など多数。1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士(政策・メディア)。

参加無料

日時

2024年11月8日(金) 14:00~16:00

基調
講演

NTT版tsuzumi等の
AI活用で業務変革と新たな価値創造を

日本電信電話株式会社 常務取締役 常務執行役員 CCXO
Co-CAIO 研究開発マーケティング本部長 大西佐知子 氏



お申し込みは
こちらから

お申し込み締切り ▶ 2024年11月6日(水)23:59

お申し込みフォーム ▶ <https://coubic.com/jtua-kinki/3357804>



視聴方法

Zoomウェビナーによる配信 (視聴URLはお申し込みフォームにご記入いただいたメールアドレスにご案内します)

主催 公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会 / 共催 東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社 / 後援 日本商工会議所

お問い合わせ先

公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会 セミナー事務局 E-mail: jtua-seminar@jtua.or.jp

ユーザ協会では、ICT活用事例や電話応対教育メニュー等の情報を積極的に発信しております。
本協会の趣旨にご賛同いただき、最新のICT情報等を更にお知りになりたい方は、是非この機会に協会への入会をお願いいたします。
入会には年会費がかかります。年会費の額はユーザ協会各支部までお問い合わせください。

ユーザ協会



【オンライン】2024 DXリテラシー講座 『井村屋グループ(株)におけるDXの取組に関するご紹介』

2024年12月13日(金)13:30 ~ 15:00



「あずきバー」、「肉まん・あんまん」でお馴染みの井村屋グループ(株)は、「おいしい！の笑顔をつくる」の実践に向けて、多様化するニーズに対して顧客志向を徹底しつつ、ロス・ミス・ムダの削減とDXへの取り組みによりコストイノベーションを図っておられます。

具体的には、Zoom、ノーコードツール、生成AIなどのDXツールを活用し、業務の効率化、情報流通の迅速化、ペーパーレス化などにより、ロス・ミス・ムダの削減を事業目標とされており、汎用性の高いシステム・ツールを駆使した事業運営のポイントを中心に、DX推進を担う「デジタル戦略室」の室長から、具体的な効率化事例と、その成果等について共有頂きます。

今回は業種や企業規模に関係なく、自社のDX推進の参考にしていただける内容となっていますので、この機会に是非ご参加ください。

貴社のDX推進の参考として、ご活用ください。

① ユーザ協会挨拶【5分】

② 井村屋グループ(株)講演 & 質疑応答【60分】

※企業概要動画等、あり。

〔井村屋グループ(株) 執行役員常務デジタル戦略室長 岡田 孝平 氏〕

- ◆デジタル戦略室の担う役割
- ◆具体的な業務効率化施策の概要とその効果
- ◆今後のDX推進の方向性 ◆質疑応答 等



③ ユーザ協会からのお知らせ【10分】

1 会員特典「生成AIお試し特典」のご案内
～生成AI本格導入に向けたお試しとして～
〔公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会〕

2 今後のICTセミナー・講座の紹介

定員

オンライン:300名

申し込み
方法

12月11日(水)までに 右QRコード または 以下申込サイトからお申込みください。

<https://coubic.com/jtua-kinki/4906412>



参加費

お一人様5,500円(税込) **ユーザ協会会員は“無料”**

聴講方法

「Zoom」にてライブ配信します。視聴URL等詳細は、1週間前、1日前のリマインドメールにてお申込みメールアドレス宛にご案内致します。

〔問い合わせ先〕各支部のホームページをご確認ください。電話 0120-20-6660 最寄りの支部につながります。

ユーザ協会では、ICT活用事例や電話対応教育メニュー等の情報を積極的に発信しております。

本協会の趣旨にご賛同いただき、最新のICT情報等を更にお知りになりたい方は、是非この機会に協会への入会をお願いいたします。

入会には年会費がかかります。年会費の額はユーザ協会各支部までお問い合わせください。

ユーザ協会

